

放射線療法の提供体制構築に資する研究（21EA1010）

研究分担者 大野 達也
群馬大学 大学院医学系研究科 教授

研究要旨

物理技術系職種の現状調査を実施し、その人員体制や雇用確保に資する方策を提案すべく、調査内容を確定させた。次年度に調査を実施する予定である。

A. 研究目的

目的は、1) 日本診療放射線技師会、日本医学物理士会などと連携し、医学物理士を含む物理技術系職種の現状調査を実施し評価する、2) 高精度化の進む放射線治療において、医師のタスクシフトを考慮しながら、物理技術系職種の人員体制について提案する、3) 医療機関における医学物理士の雇用確保に資する方策を提案する、の3点とした。

B. 研究方法

本年度は、物理技術系職種の現状調査の準備として、研究協力者である日本放射線腫瘍学会の医学物理士委員会の委員とともに、調査項目を議論した。調査対象は、放射線治療専門医とした。質問はGoogle Formで作成し、回答は無記名とした。物理技術系職種を対象とする調査研究の担当者とともに定期的な打ち合わせを行い、内容の一貫性や過不足の問題が起これよう可能な限り配慮することとした。

（倫理面への配慮）

倫理面への配慮として、分担者施設にて本調査研究に対する倫理審査を受けることとした。

C. 研究結果

調査項目は、放射線治療専門医の施設基本情報、医師の業務担当状況、医師の業務負荷状況、本来の業務、治療業務分担の希望、専門技師・看護師の配置、物理技術専門職の配置、物理技術専門職の雇用、治療部門長対象の質問とした。

D. 考察

次年度の予定は、倫理審査の承認を得てから放射線治療専門医宛にアンケート調査を実施する予定である。また、医学物理に関連する諸団体とその結果を共有し、人員体制や雇用確保の体制についての提言内容を取りまとめる予定である。

E. 結論

医学物理士を含む物理技術系職種に関する現状調査の内容が確定し、次年度早期の調査を実施する準備が整った。

G. 研究発表

1. 論文発表

JASTRO正会員の医師・歯科医師を対象とした医学物理士の必要性と期待される役割に関するアンケート調査報告。
中村光宏、福田茂一、鎌田正、青山英史、大野達也、JASTRO Newsletter
vol.142: 25-29, 2021.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし